

令和3年度全国学力・学習状況調査 結果の概要及び今後の取組

丹波市立青垣中学校
青中だより
令和3年 12 月



本年5月27日(木)に中学3年生を対象に、国語・数学の教科に関する調査及び生活習慣や学習環境等に関する調査が実施されました。その結果を分析しましたので、概要についてお知らせします。学校と共に学習について考えていただく機会にしたいと思っています。

1) 調査の目的

- ◆義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図る。
- ◆調査全体の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ◆学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2) 学力調査から見える成果と課題 及び 改善の方向性 調査結果〔全国との正答率比較〕

【国 語】 全国平均と同程度でした。

調査から見られる成果と課題

【成果】

- ・「話し合いの話題や方向を捉える」や「質問の意図を捉える」問題では一定の成果が見られた。これは授業において話し方・聞き方の能力向上につながる学習ルールによる成果であると考えられる。
- ・無解答率は、全国平均より低い項目が多く、国語の調査に取り組む前向きな姿勢が見られた。普段から授業規律を守り、落ち着いた姿勢で授業に取り組んでいる成果であると考えられる。

【課題】

- ・「選択式」に比べ、「短答式」及び「記述式」の問題は、全国平均よりやや下回っており、書くことに課題が見られた。
- ・「相手の場に応じて敬語を適切に使う」問題の正答率が低く、敬語の使い方など、言語についての知識・理解・技能の面に課題が見られた。

改善の方向性

- ・漢字の小テストは継続して行うとともに、「礎チャレンジ」等により基礎学力の向上を図っていく。
- ・初発の感想などで行数を指定するなどして、書く分量を多くする。そのときにキーワードを読み取れているかをペアワーク、グループワークで確認する。
- ・ペアワークやグループワークのときにキーワードをメモしたり、確認したりする作業を入れる。
- ・タブレットを活用した作文活動を取り入れることで、正しい文法や漢字を使った文章を書くことを習慣化していく。
- ・タブレットドリルを活用し、復習をする機会を増やすとともに、つまづきのポイントを的確に把握する。

【数 学】 全国平均をやや下回りました。

調査から見られる成果と課題

【成果】

- ・「与えられたデータから中央値を求めることができる」や「与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる」問題は、正答率が高く理解度が高かった。
- ・無回答率が全国平均より低い項目が多く、国語同様に普段から授業規律を守り、落ち着いた姿勢で授業に取り組んでいる成果であると考えられる。

【課題】

- ・「問題文を読んで、文字を使って方程式を立式する」問題や「四角で囲んだ4つの数」の問題では、文字で表すことに課題が見られ、文字を使うことの意味が十分に定着していないと思われる。
- ・様々な事象を数学的に読みとったり図形の性質を見いだしたりして、それを数学的に説明(証明)する力や、長文を読んで図形の性質から、それを数学的に表現する力に課題が見られた。

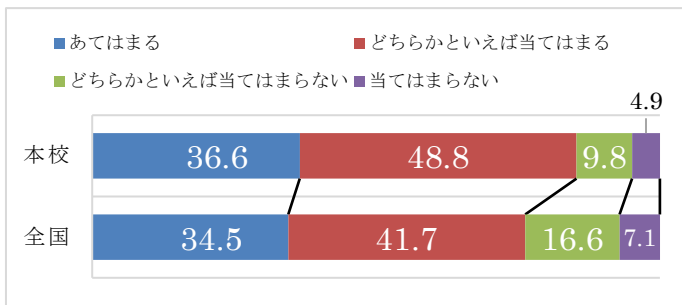
改善の方向性

- ・1年生の内容「数と式」の分野を中心に復習し、基礎学力テスト『礎チャレンジ』や放課後の『頑張リタイム』を中心に基本の定着と計算力の向上を図っていく。
- ・基本問題の演習に加え、文字で表す問題や記述式課題に取り組む機会を増やしていく。
- ・主体的に考える力をつけたり、グループワークやペアワーク、ミニティーチャーの活用など対話的な場面を取り入れたりする。
- ・タブレットドリルを活用し、復習をする機会を増やすとともに、つまづきのポイントを的確に把握する。

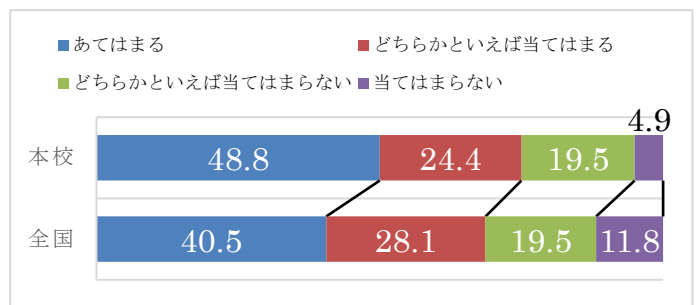
3) 生徒質問紙から見える成果と課題

自尊感情・将来への展望

①自分には、よいところがあると思いますか。



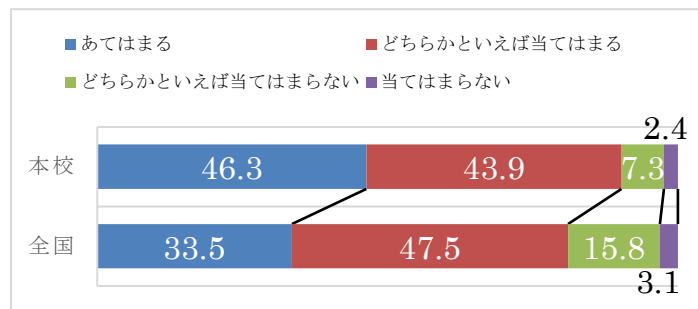
②将来の夢や目標を持っていますか。



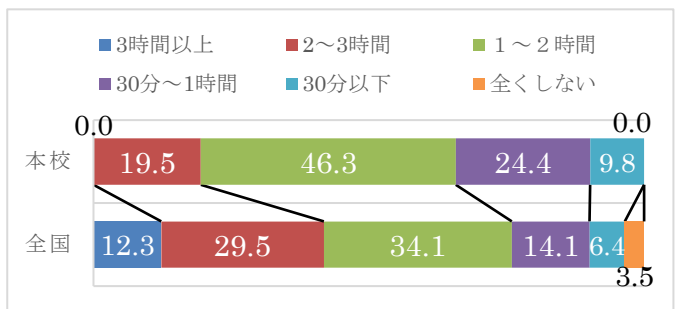
自分自身を肯定的にとらえている生徒や将来の夢や目標を持っている生徒は全国平均よりも多いです。これは各ご家庭をはじめ地域の中に、夢や希望を語れる目標となる大人がいることや、多様な生き方を認める環境が整っていることの成果であると思われます。今後もますますキャリア教育を充実させ、生徒の自立を支援してまいります。

学習習慣

③課題の解決に向けて自分で考え自分で取り組んでいますか。



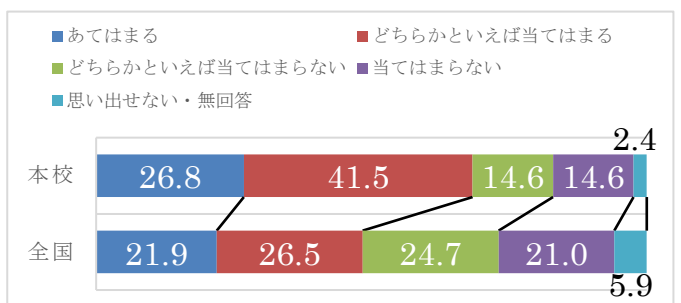
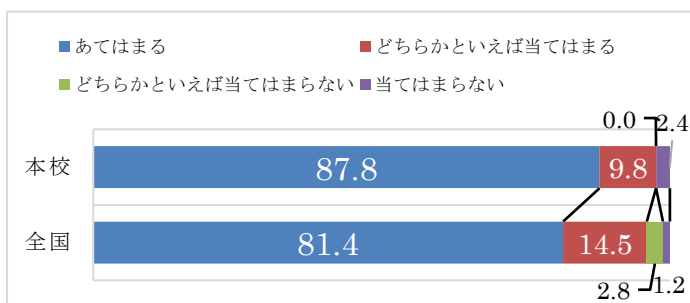
④普段 1 日当たりどれくらいの時間勉強していますか。



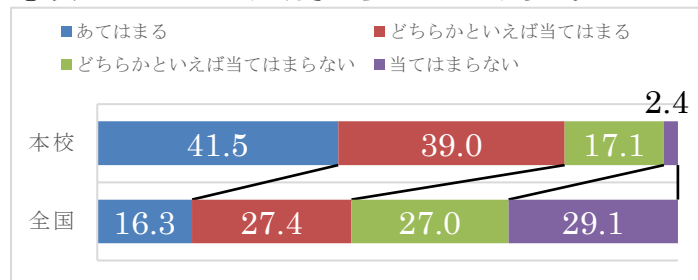
学校での学習に積極的に取り組んでいる様子がうかがえます。しかし、家庭学習の状況は課題が大きいと言えます。学校での学習意欲を家庭学習にもつなげられるよう、授業や宿題の工夫、さらにタブレットを有効活用した取り組みを進めます。各家庭においても、学習環境を整えることやスマホ・ゲーム等の使用ルールの作成など、学習に向かう子どもたちの支援をお願いします。

規範意識・生活習慣・地域連携

⑤いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。⑥学校が休校中、規則正しい生活を送っていましたか。



⑦今住んでいる地域の行事に参加していますか。



多くの生徒は規範意識が高く、基本的な生活習慣が身についていると考えられます。今後、全生徒が「いじめはどんな理由があってもいけない」と思えるように人権教育を進めてまいります。また地域で活動している割合は、コロナ禍にもかかわらず、非常に高いものがあります。これは本校の特徴であり、コミュニティースクールの活動をはじめ、地域の方々に支えていただいている成果だと考えます。今後も地域とともにある学校づくりを進めてまいります。